

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/03/31号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



地政学リスクで一時70ドル台を回復

NY原油先物相場は、1バレル=69～70ドル水準まで値上がりする展開になった。高値は70.22ドルに達したが、週末にかけては69ドル台前半まで上げ幅を削る展開になった。供給リスクの織り込みが続き、70ドル台に到達した。1) トランプ米政権のイラン産とベネズエラ産石油に対する制裁、2) 中東情勢の緊迫化、3) 石油輸出国機構（OPEC）プラスの生産調整の動きなどが、原油相場を下さへした。米原油・石油製品在庫の取り崩しもポジティブ。ただし、週後半は改めて米通商リスクを織り込む動きが優勢になり、70ドル台を維持できなかった。

トランプ米大統領は3月24日、ベネズエラ産石油を輸入する国に対して25%の関税を課すと表明した。4月2日に発効する。既に米石油大手シェブロンに対してベネズエラ石油事業からの撤退が指示されているが、イラン産に続いてベネズエラ産石油輸出についても抑制するための試みが始まることになる。主な輸入国である中国に対して制裁効果があるのかは不透明だが、原油相場リスクプレミアムを加算した。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（3月21日時点）は、原油が前週比334万バレル減、ガソリンが145万バレル減、石油精製品が42万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

通商リスクで上値の重さを再確認へ

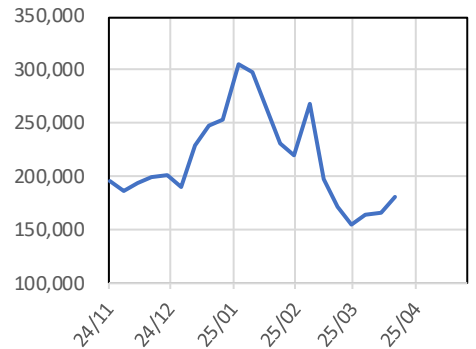
供給不安で70ドル水準まで切り返す展開になっているが、改めて上値の重さを再確認する可能性が高い。トランプ米政権の通商政策に対する警戒感がマーケット全体に広がる中、原油相場のみが大きく値位置を切り上げるのは難しくなろう。4月2日には相互関税の発動が予定されているが、多くの国が報復や制裁措置の発動を検討している。世界経済の減速が改めて強く認識されやすく、上げ一服後の戻り売り圧力を想定したい。

相互関税については、トランプ大統領が「柔軟性」を示唆したことで、マーケットではそれほど厳しい内容にはならないとの楽観的な見方も浮上していた。しかし、実際には適用除外などの例外措置は限定される見通しであり、世界経済に大きな混乱をもたらし得る動きと再評価されている。グローバルな貿易紛争が警戒され、株価急落といった動きがみられると、原油相場も60ドル台中盤まで下押しされるリスクが高まろう。マーケット全体が通商リスクの織り込みを強化するか否かに注目したい。

一方、供給リスクも引き続き高めの状態にあることには注意が必要。特に中東ではイスラエルがハマスやヒズボラに対する攻撃を強化している。このまま停戦合意の二段階に進むことができず、イラン核問題を巡る混乱などもみられると、供給リスクの織り込み再開で70ドルを水準を試す可能性は残されている。

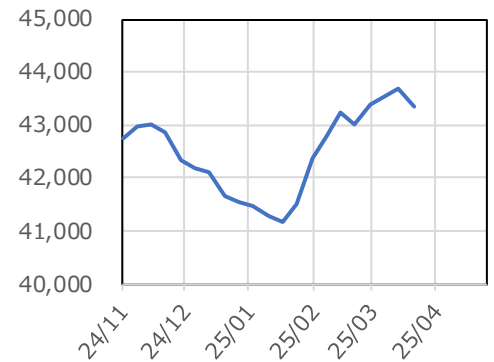
月初とあって、米中などで主要経済指標の発表が行われる。通商問題の影響を示す経済指標が目立つと、値下がりリスクが高まる。また、4月4日には3月米雇用統計が発表されるため、ドル相場の値動きにも注目したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



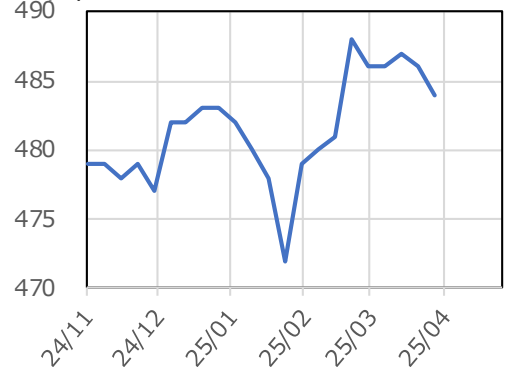
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

